



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 三菱倉庫株式会社

コード番号 9301 URL <http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松井 明生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 康

TEL 03-6705-6500

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	97,361	2.2	5,738	△14.4	6,802	△15.3	3,980	△3.2
25年3月期第2四半期	95,232	△3.7	6,707	5.1	8,028	7.6	4,110	1.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 10,232百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,493百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	22.71	—
25年3月期第2四半期	23.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	391,196	236,978	60.0
25年3月期	375,180	227,827	60.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 234,827百万円 25年3月期 225,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	199,000	3.5	11,900	△3.3	13,900	△4.3	8,600	0.1	49.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	175,921,478 株	25年3月期	175,921,478 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	664,832 株	25年3月期	654,096 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	175,261,484 株	25年3月期2Q	175,279,044 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.4「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の世界経済は、米国で景気が緩やかな回復傾向となったほか、欧州では一部に持ち直しの動きがみられ、中国など新興国では景気の拡大テンポが安定化しつつあります。またわが国経済は、個人消費及び設備投資に持ち直しの動きがみられ、生産が緩やかに増加するなど、景気は緩やかな回復傾向を辿りました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、物流合理化の影響等により、また不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善の兆しがあるものの一部に賃料の低下がみられるなど、引き続き厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは、積極的な営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、**営業収益**は、物流事業で倉庫、陸上運送の両事業において医薬品、非鉄金属等の取扱が堅調に推移したほか、国際運送取扱事業において為替円安の影響もあり収入が増加し、不動産事業で、オフィスビル等の需要減退の影響を受けたものの神戸ハーバーランド商業施設リニューアルの寄与やマンション販売物件の増加により収入が前年同期並みとなったため、全体として前年同期比21億2千8百万円（2.2%）増の973億6千1百万円となりました。また**営業原価**は、コスト管理の徹底及び業務の効率化に努めたものの、物流事業における新規施設稼働に伴う減価償却費等の増加のほか、不動産事業における神戸ハーバーランド商業施設リニューアルに伴う一時費用の計上やマンション販売物件の増加に伴う不動産販売原価の増加により、全体として前年同期比30億7千8百万円（3.7%）増の871億8百万円となり、**販売費及び一般管理費**は、前年同期並みの45億1千4百万円となりました。

このため、**営業利益**は、物流事業で前年同期並み、不動産事業で減益となったので、全体として前年同期比9億6千8百万円（14.4%）減の57億3千8百万円となり、**経常利益**は、持分法による投資利益等の営業外収益の減少もあり、同12億2千5百万円（15.3%）減の68億2百万円となりました。また、**四半期純利益**は、投資有価証券評価損等の特別損失の減少があったものの、前年同期比1億3千万円（3.2%）減の39億8千万円となりました。

(セグメント別の概況)

① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫・陸上運送の両事業は、医薬品、非鉄金属等の取扱が堅調に推移したため、営業収益は倉庫事業で前年同期比2.4%増の186億8千3百万円、陸上運送事業で同4.4%増の208億4千4百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱が減少したため、営業収益は前年同期比4.8%減の83億3千1百万円となりましたが、国際運送取扱事業は、為替円安の影響等により、営業収益は同4.2%増の226億1百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比21億3千7百万円（2.8%）増の795億7百万円となりました。また営業費用は、当社及び連結子会社における新規施設（埼玉・三郷2号配送センター、大阪・茨木3号配送センター、富士物流(株)三重物流センター）の稼働に伴い減価償却費等が増加したため、前年同期比21億4千8百万円（2.9%）増の763億1千万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期並みの31億9千6百万円となりました。

② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、神戸ハーバーランド商業施設リニューアルが寄与したもののオフィスビル等の需要減退の影響により、営業収益は前年同期比 2.2%減の 152 億 5 千 5 百万円となりました。その他の営業収益は、マンション販売物件の増加等により前年同期比 10.6%増の 35 億 8 百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期並みの 187 億 6 千 4 百万円となりました。また営業費用は、減価償却費が減少したものの、神戸ハーバーランド商業施設リニューアルに伴う一時費用を計上したほか、マンション販売物件の増加に伴う不動産販売原価の増加もあり、前年同期比 9 億 3 千 6 百万円 (7.2%) 増の 139 億 8 千 6 百万円となりました。このためセグメント利益 (営業利益) は、前年同期比 9 億 4 千 1 百万円 (16.5%) 減の 47 億 7 千 7 百万円となりました。

セグメント別営業収益

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比増減 (△印減)	
			金額	率
	百万円	百万円	百万円	%
物流事業	77,369	79,507	2,137	2.8
(倉庫事業)	(18,246)	(18,683)	(437)	(2.4)
(陸上運送事業)	(19,957)	(20,844)	(886)	(4.4)
(港湾運送事業)	(8,753)	(8,331)	(△ 421)	(△ 4.8)
(国際運送取扱事業)	(21,691)	(22,601)	(910)	(4.2)
(その他)	(8,720)	(9,046)	(325)	(3.7)
不動産事業	18,769	18,764	△ 5	△ 0.0
(不動産賃貸事業)	(15,598)	(15,255)	(△ 342)	(△ 2.2)
(その他)	(3,171)	(3,508)	(337)	(10.6)
セグメント間取引消去	△ 906	△ 909	△ 3	-
合計	95,232	97,361	2,128	2.2

(注)セグメント間取引消去は、物流事業と不動産事業の営業収益に含まれるセグメント間取引分の消去である。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、当期の設備投資 (神戸ハーバーランド商業施設リニューアル工事等) に伴い「建物及び構築物」等が増加したほか、株式相場回復に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比 160 億 1 千 6 百万円増の 3,911 億 9 千 6 百万円となりました。

他方当第2四半期末の負債合計は、新規借入に伴い「短期借入金」が増加したほか、株式相場回復に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比 68 億 6 千 5 百万円増の 1,542 億 1 千 7 百万円となりました。

また当第2四半期末の純資産は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したほか、株式相場回復に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比 91 億 5 千万円増の 2,369 億 7 千 8 百万円となりました。

この結果、当第2四半期末の自己資本比率は、前期末を 0.2 ポイント下回る 60.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、78 億 9 千 4 百万円の増加となりました。

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により、132 億 9 千 5 百万円の減少となりました。

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により、68億1千9百万円の増加となりました。

この結果、当第2四半期の連結キャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（3億5千2百万円の増加）を加えた全体で17億7千万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は342億3千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、主として物流事業で貨物取扱量が全体として伸び悩んだため、営業収益、営業利益等が期首予想（平成25年4月30日発表の予想数値）を下回って進捗しております。また期後半において、物流事業で貨物取扱量の大幅増加は見込めず、不動産事業で設計施工業務の受注減少が予想されます。

このため、通期連結業績予想について、下記のとおり営業収益、営業利益、経常利益において期首予想の減額修正を行い、当期純利益において、特別損益の改善が見込まれることから期首予想を据え置くことといたします。

この結果、当期の通期連結業績予想を前期との比較で見ますと、①営業収益は、物流事業で、倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において貨物取扱量が前期を上回ると見込まれるため増収となり、不動産事業で、主力の不動産賃貸事業において引き続きオフィスビル等の需要減退の影響を受けるものの神戸ハーバーランド商業施設リニューアルの寄与もあり前期並みの収入となるため、全体で前期比約4%の増収が予想されます。②他方営業費用は、物流事業で当社及び連結子会社における新規施設の稼働に伴う減価償却費等の増加のほか、不動産事業で神戸ハーバーランド商業施設リニューアルに伴う一時費用の計上等もあり、全体で前期比4%の増加が予想されます。③この結果、営業利益は、物流事業で増益となるものの、不動産事業で減益となるため、全体で約3%の減益となり、経常利益も約4%の減益となりますが、当期純利益は、特別損益の改善が見込まれるため、前期並みと予想されます。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	210,000	12,500	14,600	8,600	49 07
今回修正予想（B）	199,000	11,900	13,900	8,600	49 07
増減額（B－A）	△11,000	△600	△700	0	
増減率（％）	△5.2	△4.8	△4.8	0	
（ご参考）					
前期実績（平成25年3月期）	192,260	12,305	14,526	8,591	49 02

《参考》

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,300	10,000	11,800	7,400	42 20
今回修正予想 (B)	140,200	9,100	11,200	7,400	42 21
増減額 (B - A)	△8,100	△900	△600	0	
増減率 (%)	△5.5	△9.0	△5.1	0	
(ご参考)					
前期実績(平成 25 年 3 月期)	136,890	9,755	11,748	7,393	42 17

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,367	31,258
受取手形及び営業未収金	30,720	30,328
有価証券	4,500	4,500
販売用不動産	6,324	7,132
繰延税金資産	2,112	2,147
その他	4,478	4,628
貸倒引当金	△55	△77
流動資産合計	77,446	79,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	104,026	106,985
機械装置及び運搬具(純額)	3,538	3,561
土地	66,158	66,500
建設仮勘定	2,934	5,002
その他(純額)	2,761	2,886
有形固定資産合計	179,418	184,936
無形固定資産		
借地権	7,722	7,722
のれん	2,292	2,243
その他	5,927	6,491
無形固定資産合計	15,942	16,456
投資その他の資産		
投資有価証券	93,760	101,213
長期貸付金	566	603
繰延税金資産	2,785	2,678
その他	5,460	5,599
貸倒引当金	△32	△26
投資損失引当金	△169	△183
投資その他の資産合計	102,371	109,884
固定資産合計	297,733	311,277
資産合計	375,180	391,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	20,037	18,174
短期借入金	15,124	23,394
未払法人税等	2,294	2,136
取締役賞与引当金	40	20
その他	11,231	10,221
流動負債合計	48,728	53,946
固定負債		
社債	29,000	29,000
長期借入金	13,882	13,717
長期預り金	23,189	22,664
繰延税金負債	15,768	18,334
退職給付引当金	15,854	15,658
役員退職慰労引当金	221	211
その他	708	684
固定負債合計	98,624	100,271
負債合計	147,352	154,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,617	19,617
利益剰余金	151,269	154,197
自己株式	△712	△729
株主資本合計	192,568	195,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,383	39,153
為替換算調整勘定	△1,134	193
その他の包括利益累計額合計	33,248	39,347
少数株主持分	2,010	2,151
純資産合計	227,827	236,978
負債純資産合計	375,180	391,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	10,804	11,095
倉庫荷役料	7,442	7,588
陸上運送料	19,957	20,844
港湾荷役料	8,752	8,330
国際運送取扱料	21,691	22,601
不動産賃貸料	16,148	16,069
その他	10,436	10,831
営業収益合計	95,232	97,361
営業原価		
作業運送委託費	39,363	40,645
人件費	16,722	17,014
施設賃借費	3,882	3,941
減価償却費	6,012	6,007
その他	18,048	19,498
営業原価合計	84,029	87,108
営業総利益	11,202	10,253
販売費及び一般管理費	4,495	4,514
営業利益	6,707	5,738
営業外収益		
受取利息	23	14
受取配当金	1,144	1,096
持分法による投資利益	260	121
その他	299	272
営業外収益合計	1,728	1,504
営業外費用		
支払利息	378	379
その他	30	61
営業外費用合計	408	440
経常利益	8,028	6,802
特別利益		
固定資産処分益	11	62
固定資産受贈益	55	8
投資有価証券売却益	—	70
施設解約補償金	33	—
特別利益合計	100	141
特別損失		
固定資産処分損	577	438
投資有価証券評価損	892	10
投資損失引当金繰入額	77	14
アドバイザー費用	—	157
特別損失合計	1,547	620
税金等調整前四半期純利益	6,582	6,323
法人税等	2,435	2,263
少数株主損益調整前四半期純利益	4,146	4,059
少数株主利益	35	79
四半期純利益	4,110	3,980

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,146	4,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,711	4,791
為替換算調整勘定	41	1,145
持分法適用会社に対する持分相当額	30	236
その他の包括利益合計	△5,639	6,172
四半期包括利益	△1,493	10,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,521	10,078
少数株主に係る四半期包括利益	27	153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,582	6,323
減価償却費	6,157	6,126
引当金の増減額(△は減少)	6	△169
受取利息及び受取配当金	△1,168	△1,111
支払利息	378	379
投資有価証券評価損益(△は益)	892	10
売上債権の増減額(△は増加)	11,431	714
販売用不動産の増減額(△は増加)	△202	△808
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,802	△2,030
預り金の増減額(△は減少)	△1,142	△75
その他	△988	69
小計	20,142	9,428
利息及び配当金の受取額	1,234	1,232
利息の支払額	△366	△367
法人税等の支払額	△2,982	△2,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,028	7,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△4,803	△13,349
固定資産の売却による収入	38	194
投資有価証券の取得による支出	△467	△18
投資有価証券の売却による収入	3	297
子会社出資金の取得による支出	—	△298
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	383	—
その他	161	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,684	△13,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額(△は減少)	△34	8,052
配当金の支払額	△1,052	△1,052
その他	△160	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	6,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,097	1,770
現金及び現金同等物の期首残高	27,416	32,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,514	34,232

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

	報告セグメント		合 計 (百万円)	調 整 額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計 上 額 (注2) (百万円)
	倉庫・港湾 運送等の 物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)			
営 業 収 益					
外部顧客に対する営業収益	77,171	18,060	95,232	-	95,232
セグメント間の内部営業収益又は振替高	197	708	906	△ 906	-
計	77,369	18,769	96,139	△ 906	95,232
セグメント利益	3,207	5,719	8,926	△2,219	6,707

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,219百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,246百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

	報告セグメント		合 計 (百万円)	調 整 額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計 上 額 (注2) (百万円)
	倉庫・港湾 運送等の 物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)			
営 業 収 益					
外部顧客に対する営業収益	79,296	18,065	97,361	-	97,361
セグメント間の内部営業収益又は振替高	211	698	909	△ 909	-
計	79,507	18,764	98,271	△ 909	97,361
セグメント利益	3,196	4,777	7,974	△2,235	5,738

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,235百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,249百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。